

平成28年9月の鉱工業活動
図表集

平成28年11月14日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年9月の鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

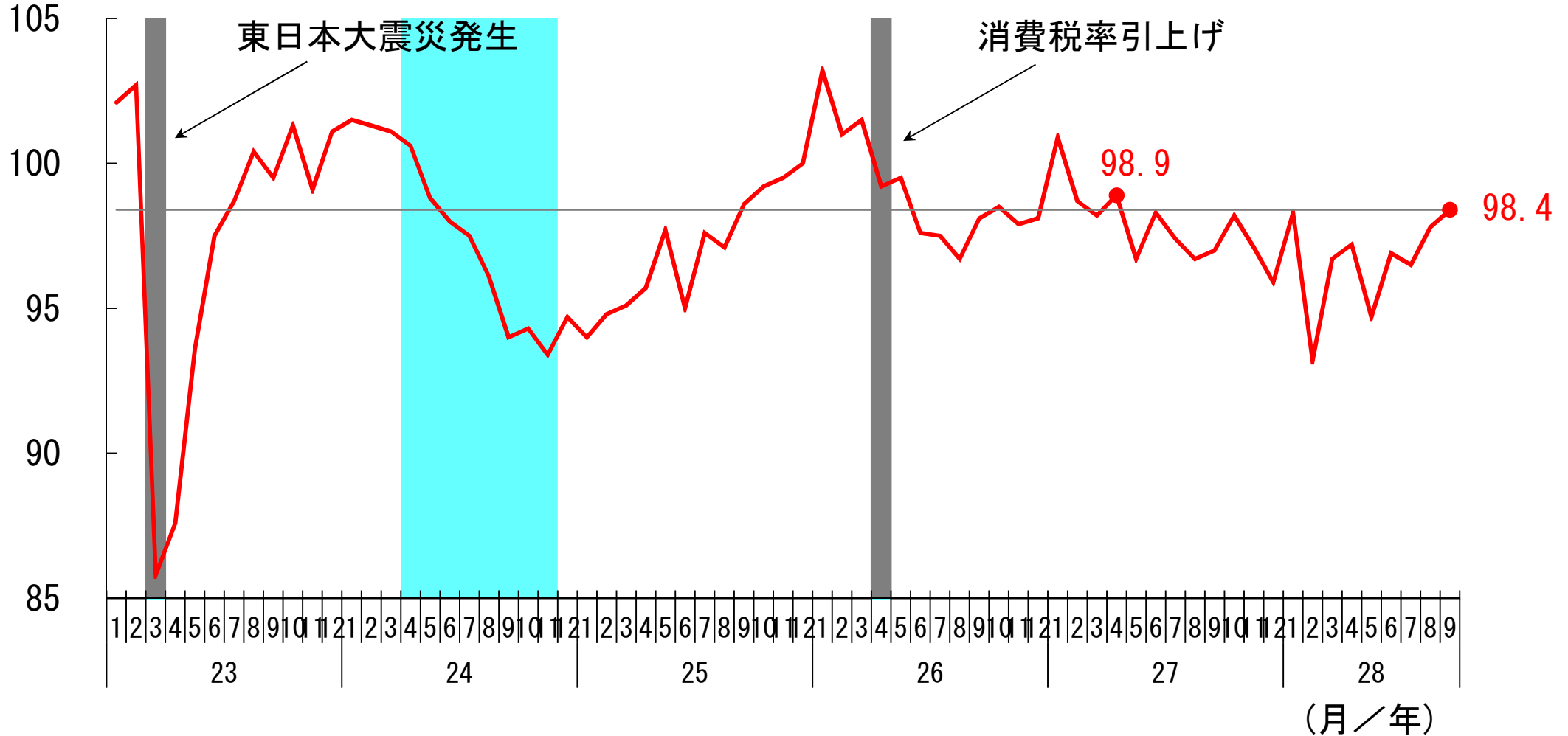
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	98.4	96.4	110.9	114.9
前月比	0.6%	1.8%	-0.5%	1.1%
指数水準	H27.4 98.9以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H28.1 96.8以来 I H20.1,2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H26.7 110.7以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H28.7 117.3以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	2か月連続+ (H28.8~当月)	2か月ぶり+ (H28.7以来)	2か月ぶり- (H28.7以来)	2か月ぶり+ (H28.7以来)
前月比幅	H28.8 1.3%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H28.3 1.8%以来 (超)H28.1 2.0%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H28.7 -2.4%以来 ①H23.3 -5.8% ②H21.2 -3.9% ③H21.3 -3.1%	H28.7 1.1%以来 (超)H28.5 1.8%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	1.5%	0.7%	-2.0%	-0.2%
前年同月比の動き	2か月連続+ (H28.8~当月)	2か月連続+ (H28.8~当月)	3か月連続- (H28.7~当月)	2か月連続- (H28.8~当月)
前年同月比幅	H28.8 4.5%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	H28.8 1.6%以来 I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	H26.2 -3.2%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H28.8 -2.3%以来 ①H22.2 -34.0% ②H22.3 -33.8% ③H22.1 -32.1%

(注) I~IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- ・平成28年9月の鉱工業生産指数は98.4(前月比0.6%)と2か月連続の上昇。
- ・平成27年4月の98.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

平成28年9月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	輸送機械工業	4.5%	140.2%
	品目	乗用車	5.3%	63.6%
		航空機	25.2%	49.2%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	3.8%	89.1%
	品目	運搬機械	28.7%	22.4%
		ボイラ・原動機	8.5%	12.4%
	3位の業種	化学工業	0.5%	10.6%
品目	石けん・合成洗剤・界面活性剤	7.1%	12.3%	
	プラスチック	2.9%	6.8%	
鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	情報通信機械工業	-11.8%	-55.9%
	品目	電子計算機	-13.2%	-29.6%
		民生用電子機械	-8.5%	-9.7%
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	-2.7%	-35.5%
	品目	集積回路	-4.6%	-23.9%
		半導体素子	-13.0%	-11.1%
	3位の業種	金属製品工業	-3.6%	-23.0%
品目	建設用金属製品	-14.3%	-15.5%	
	その他の金属製品	-1.8%	-4.7%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

平成28年9月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	5.3%	63.6%
	2位	航空機	25.2%	49.2%
	3位	自動車部品	3.5%	39.1%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	民生用電気機械	-13.2%	-30.2%
	2位	電子計算機	-13.2%	-29.6%
	3位	集積回路	-4.6%	-23.9%

<財別＝用途別>

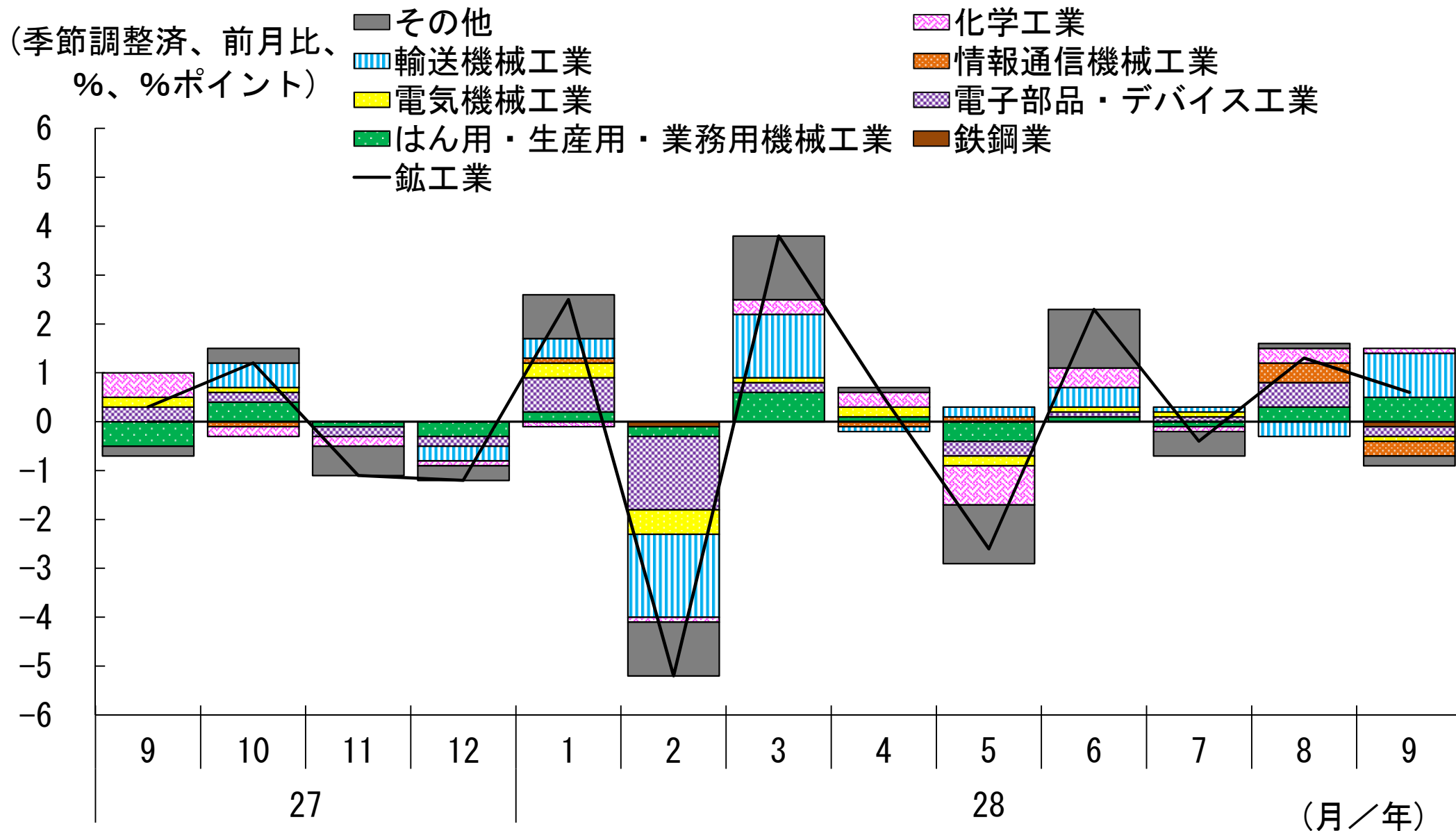
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	1.2%	101.0%
		航空機用発動部品	43.9%	38.5%
		アクティブ型液晶素子（中・小型）	19.7%	27.1%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	2.2%	55.7%
		半導体製造装置	2.2%	55.7%
		クレーン	8.9%	28.5%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	0.5%	8.0%
		普通乗用車	3.3%	26.0%
		軽乗用車	11.5%	12.0%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.1%	2.2%
		合成洗剤	14.0%	14.8%
		化粧水	14.0%	9.2%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-2.5%	-22.5%
		橋りょう	-24.3%	-11.0%
		エレベータ	-11.2%	-2.4%

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

（注）全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鉱工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年9月の生産指数は情報通信機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比0.6%の上昇。

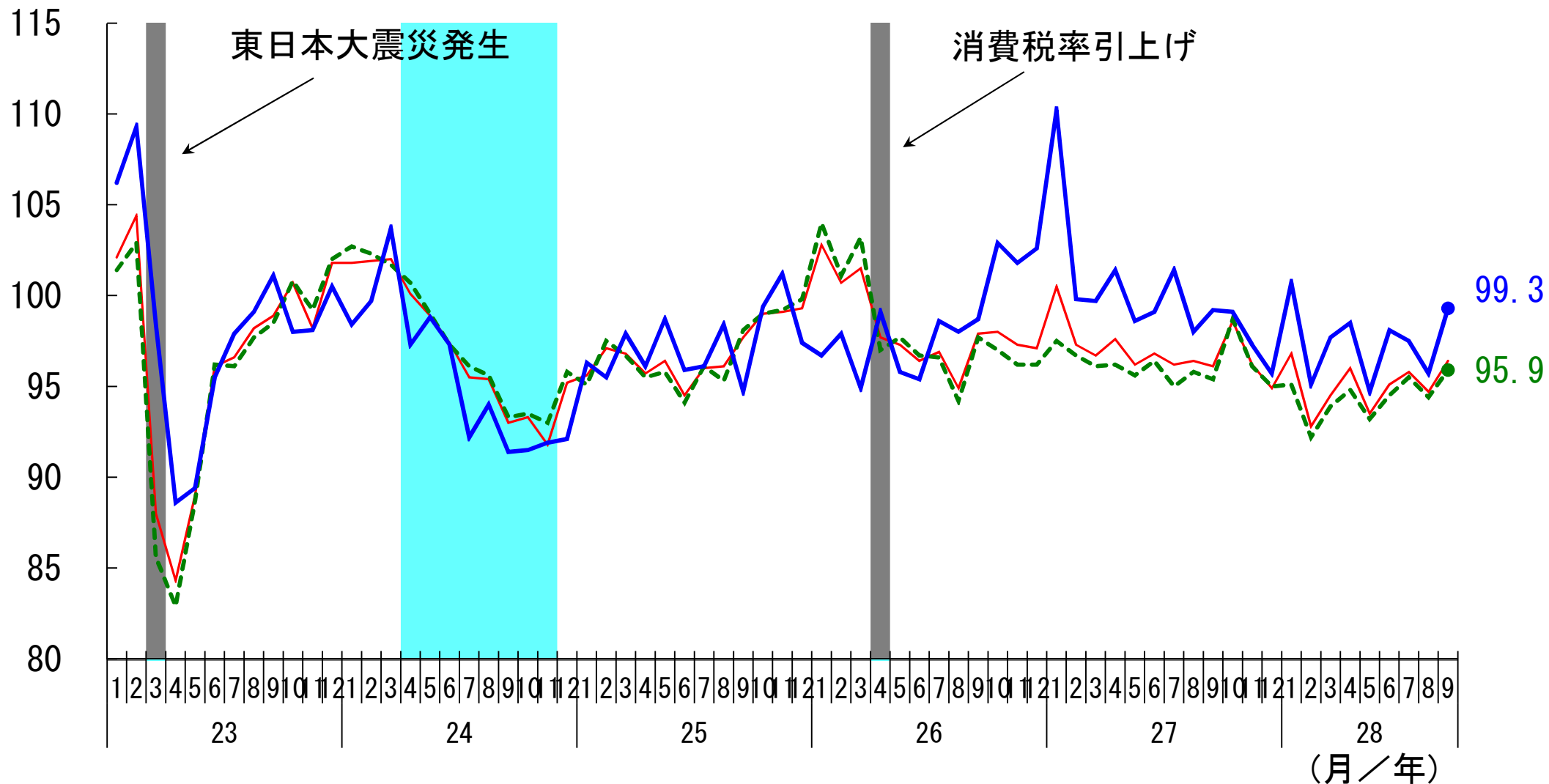


国内向け／輸出向け出荷の動向

・平成28年9月の鋳工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは95.9(前月比1.6%)と2か月ぶりの上昇、輸出向けは99.3(前月比3.8%)と3か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)

— 鋳工業出荷 - - - 国内向け — 輸出向け



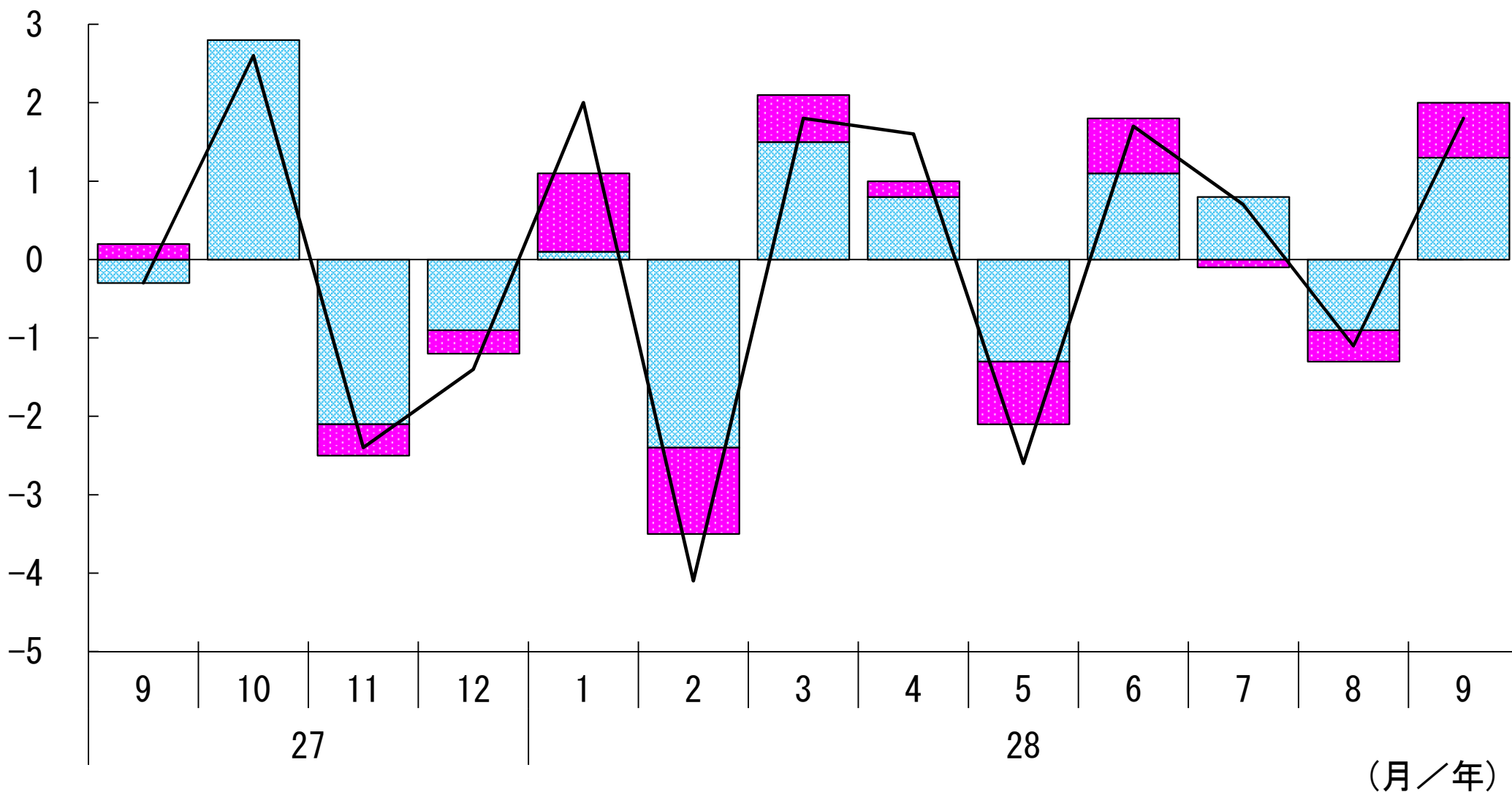
(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋳工業出荷への国内向け／輸出向け別寄与度分解

- 平成28年9月の鋳工業出荷は国内向け、輸出向けともに上昇したため、前月比1.8%の上昇。

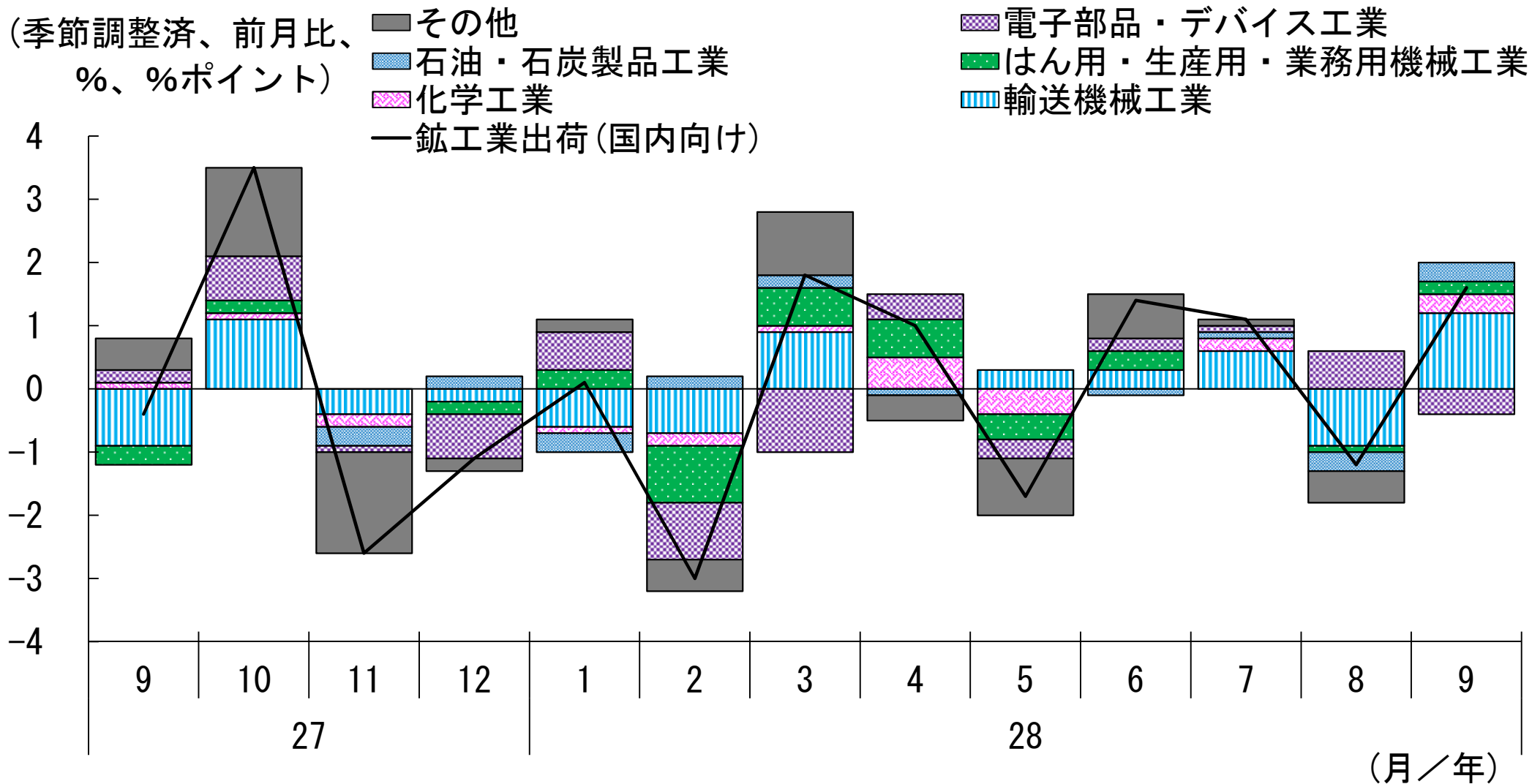
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 輸出向け ■ 国内向け — 鋳工業出荷



国内向け出荷への業種別寄与度分解

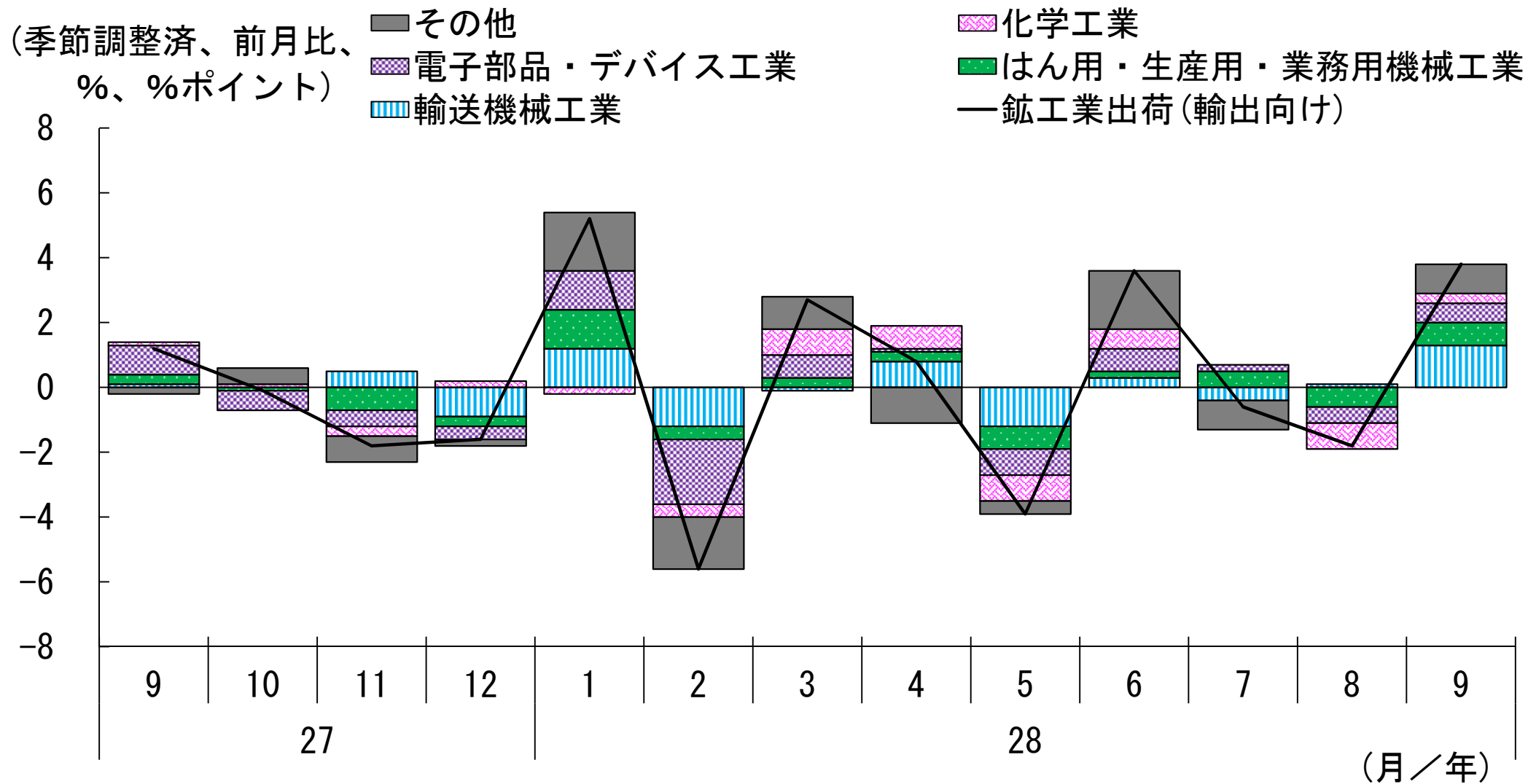
- 平成28年9月の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが上昇。



(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

輸出向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年9月の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが上昇。

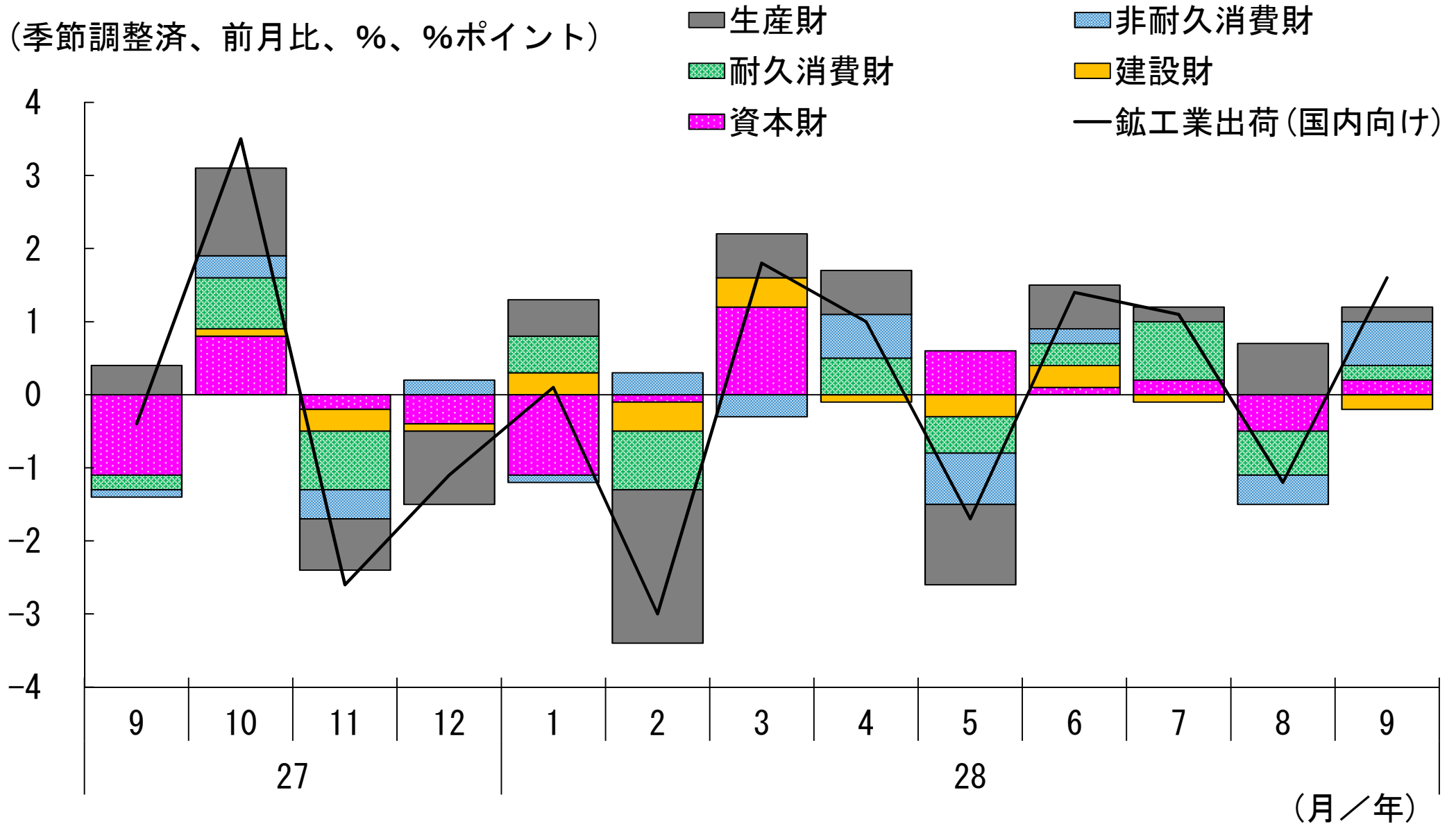


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

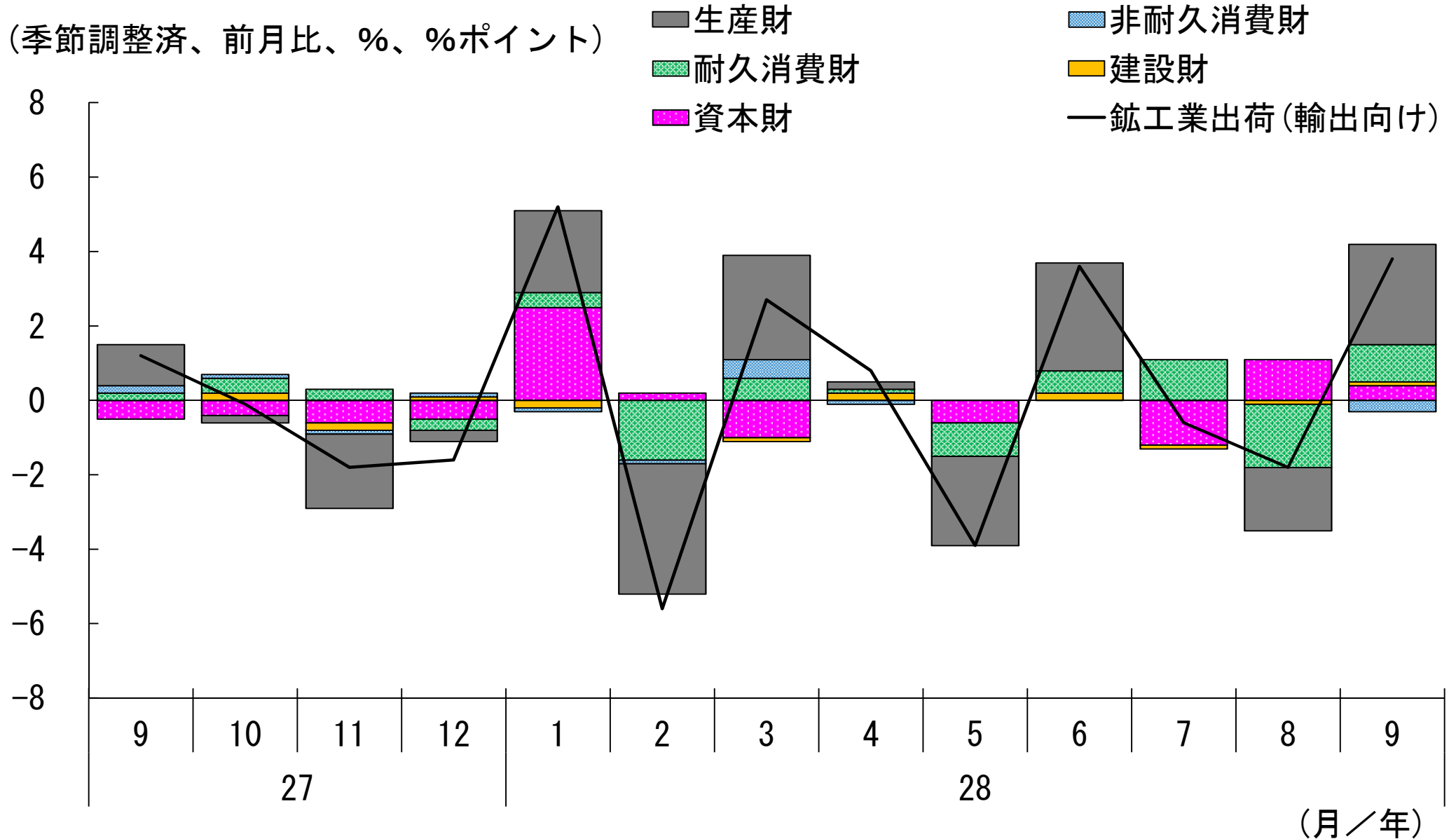
国内向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年9月の国内向け出荷を、財別にみると、建設財が低下したものの、非耐久消費財などが上昇。



輸出向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年9月の輸出向け出荷を、財別にみると、非耐久消費財が低下したものの、生産財などが上昇。



平成28年9月の国内向け出荷への財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	1.6	70.8
非耐久消費財	4.3	26.4
食料品・たばこ工業	6.1	15.9
化学工業	5.3	10.9
耐久消費財	1.8	10.1
輸送機械工業	3.9	16.3
その他工業	9.8	1.3
資本財	1.0	8.7
輸送機械工業	4.1	9.3
はん用・生産用・業務用機械工業	2.0	8.3
その他用生産財	1.9	4.5
石油・石炭製品工業	4.5	6.3
化学工業	77.9	1.0
鉱工業用生産財	0.1	2.0
輸送機械工業	6.9	20.7
電気機械工業	4.9	3.4
建設財	-2.8	-8.1
金属製品工業	-4.2	-5.0
プラスチック製品工業	-12.8	-1.8

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)試算値。

平成28年9月の輸出向け出荷への財別・業種別の変動寄与

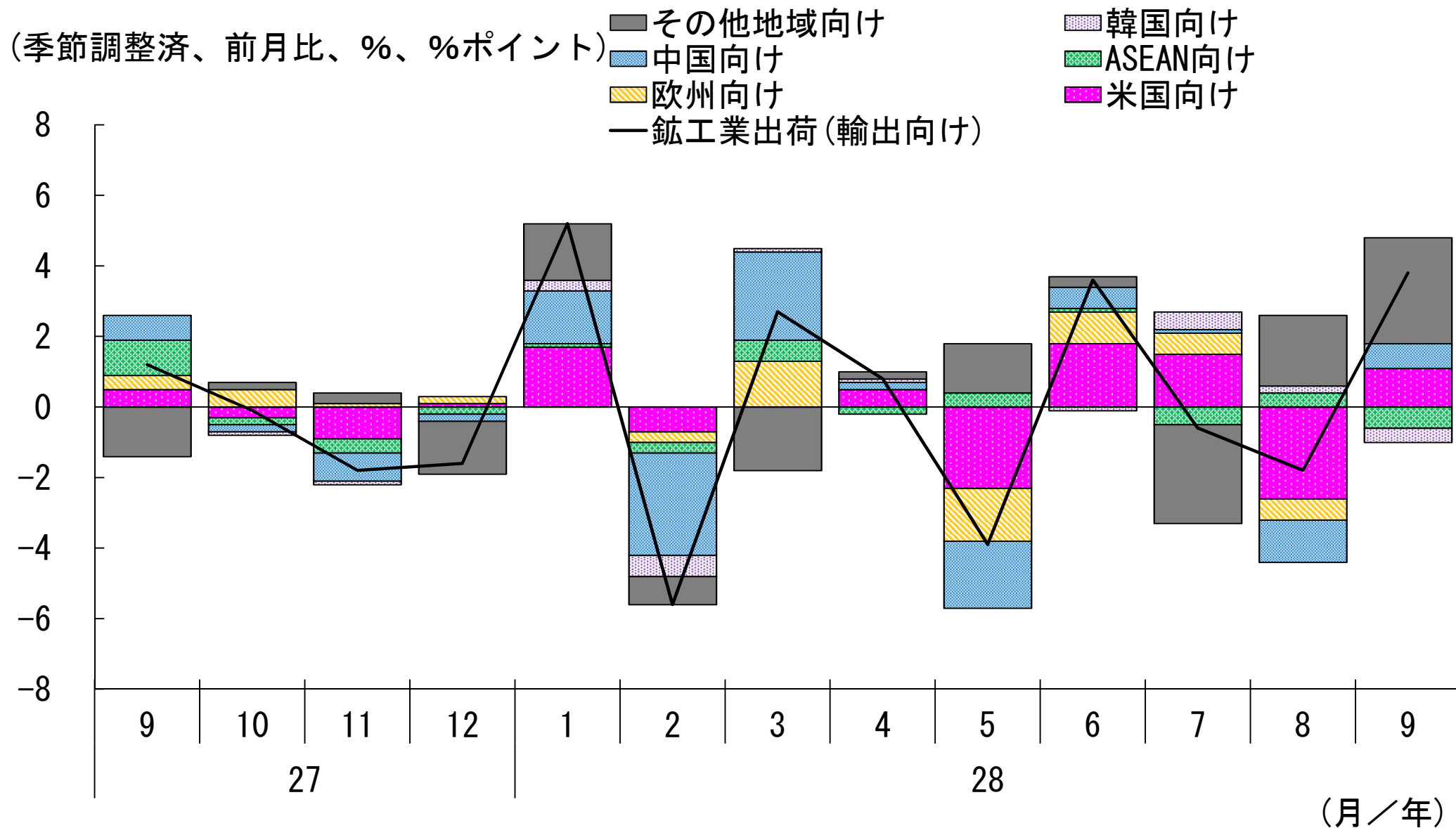
財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	3.8	41.7
鉱工業用生産財	4.1	26.5
電子部品・デバイス工業	5.6	7.0
輸送機械工業	4.0	5.1
耐久消費財	8.4	11.6
輸送機械工業	11.1	12.9
電気機械工業	6.4	0.1
資本財	2.2	4.8
はん用・生産用・業務用機械工業	3.5	4.2
電気機械工業	9.4	2.4
建設財	7.2	1.6
プラスチック製品工業	12.9	0.9
鉄鋼業	16.2	0.6
その他用生産財	3.4	1.3
化学工業	43.8	1.5
プラスチック製品工業	30.4	0.3
非耐久消費財	-9.8	-3.8
化学工業	-9.6	-1.8
石油・石炭製品工業	-30.8	-1.2

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)試算値。

輸出向け出荷への地域別寄与度分解

- 平成28年9月の輸出向け出荷を、地域別にみると、ASEAN向けなどが低下したものの、その他地域向けなどが上昇。

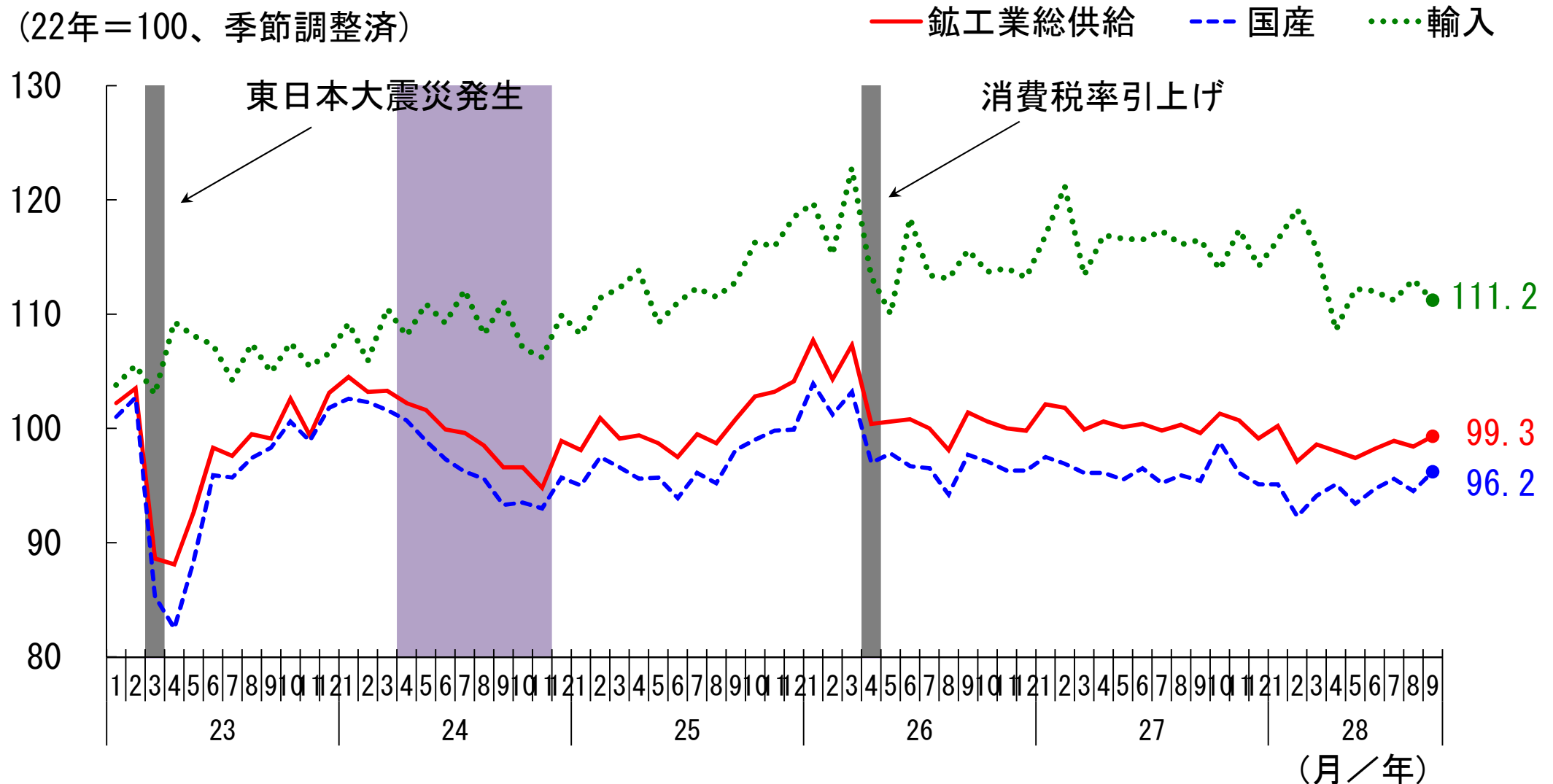


(注) 試算値。

鉍工業総供給指数の動向

- ・平成28年9月の鉍工業総供給指数は99.3(前月比0.9%)と2か月ぶりの上昇。
- ・内訳をみると、国産は96.2(前月比1.8%)と2か月ぶりの上昇、輸入は111.2(前月比-1.6%)と2か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)

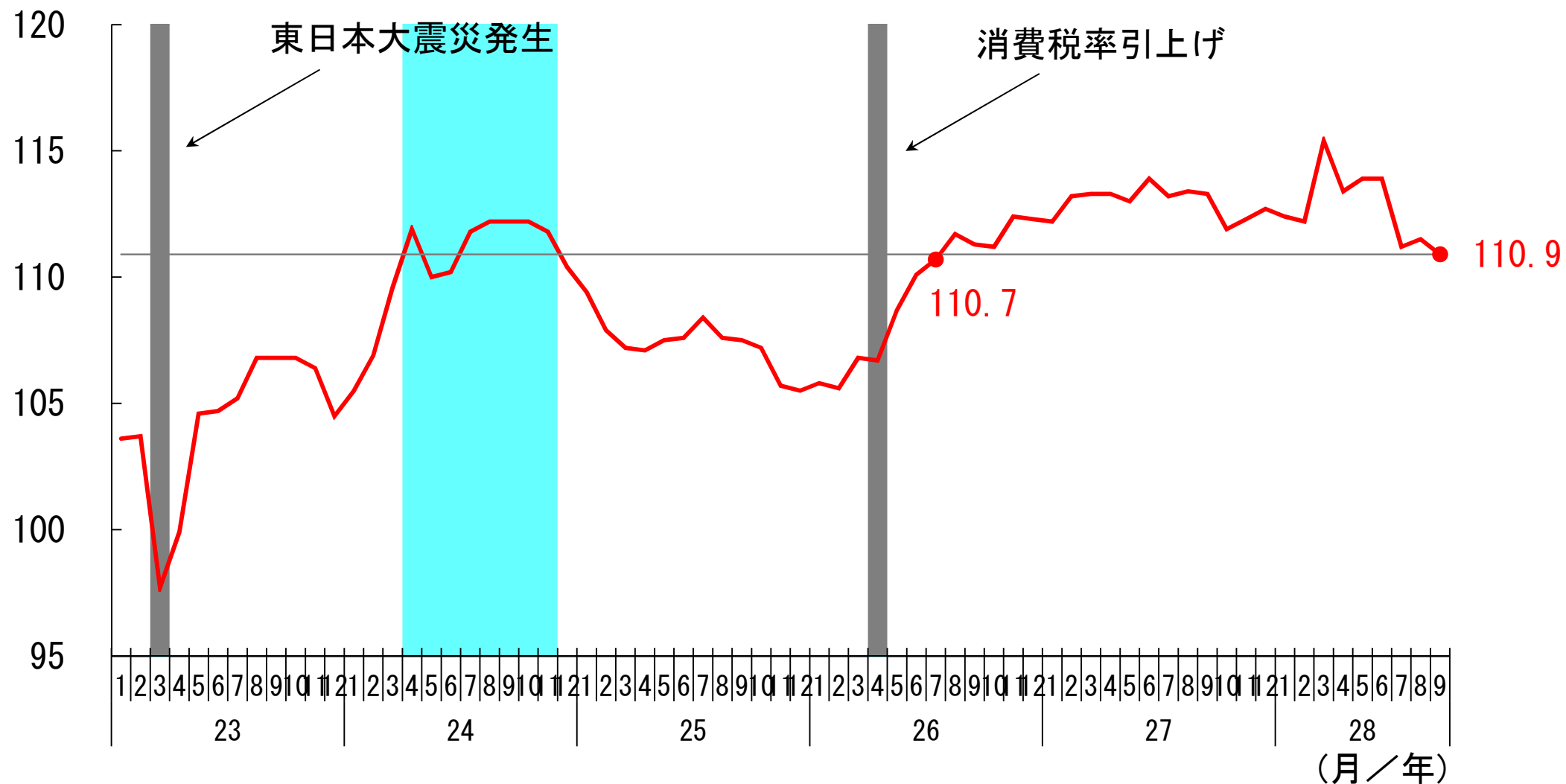


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

鉱工業在庫指数の動向

- ・平成28年9月の在庫指数は110.9(前月比-0.5%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成26年7月の110.7以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

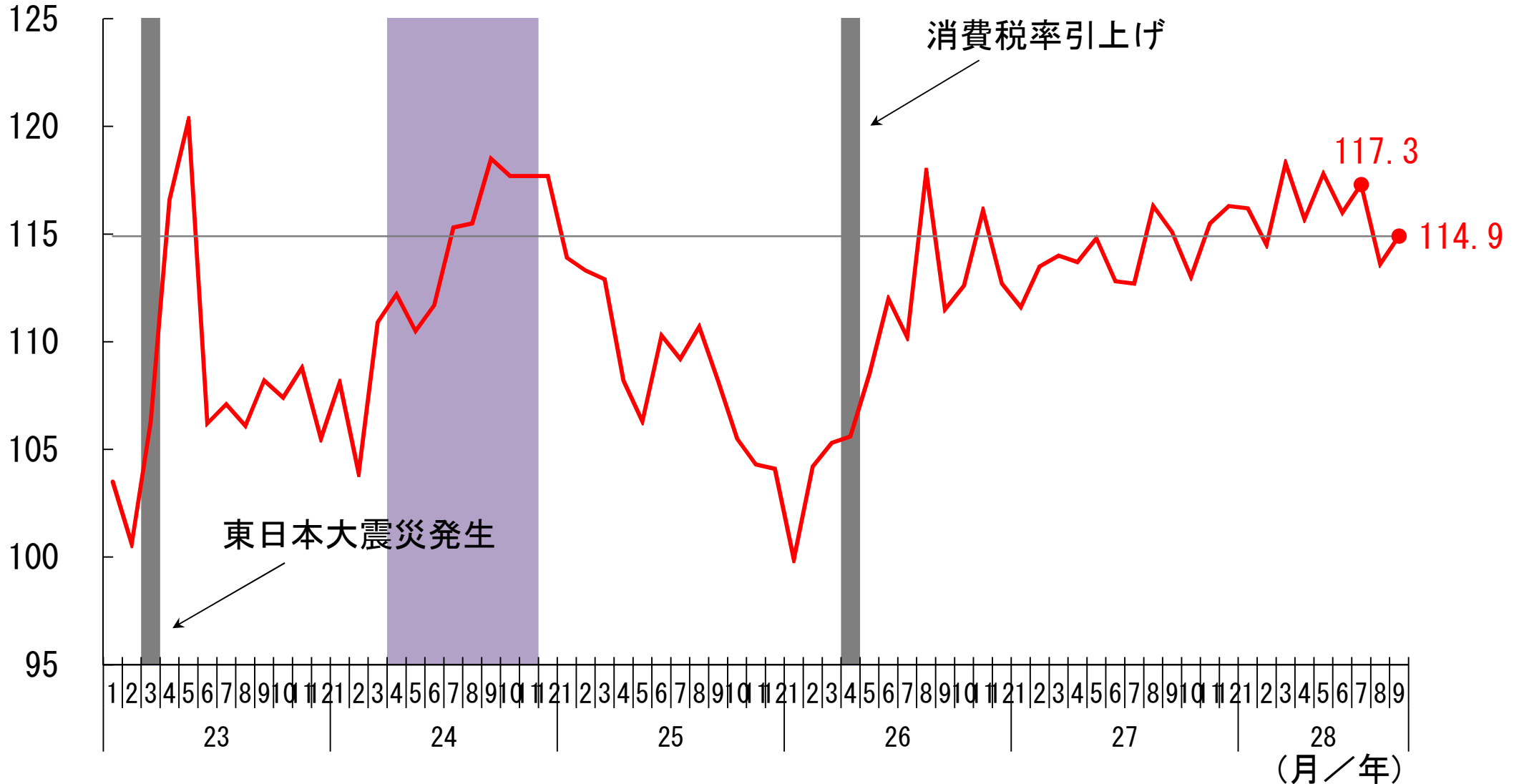


(注)水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋁工業在庫率指数の動向

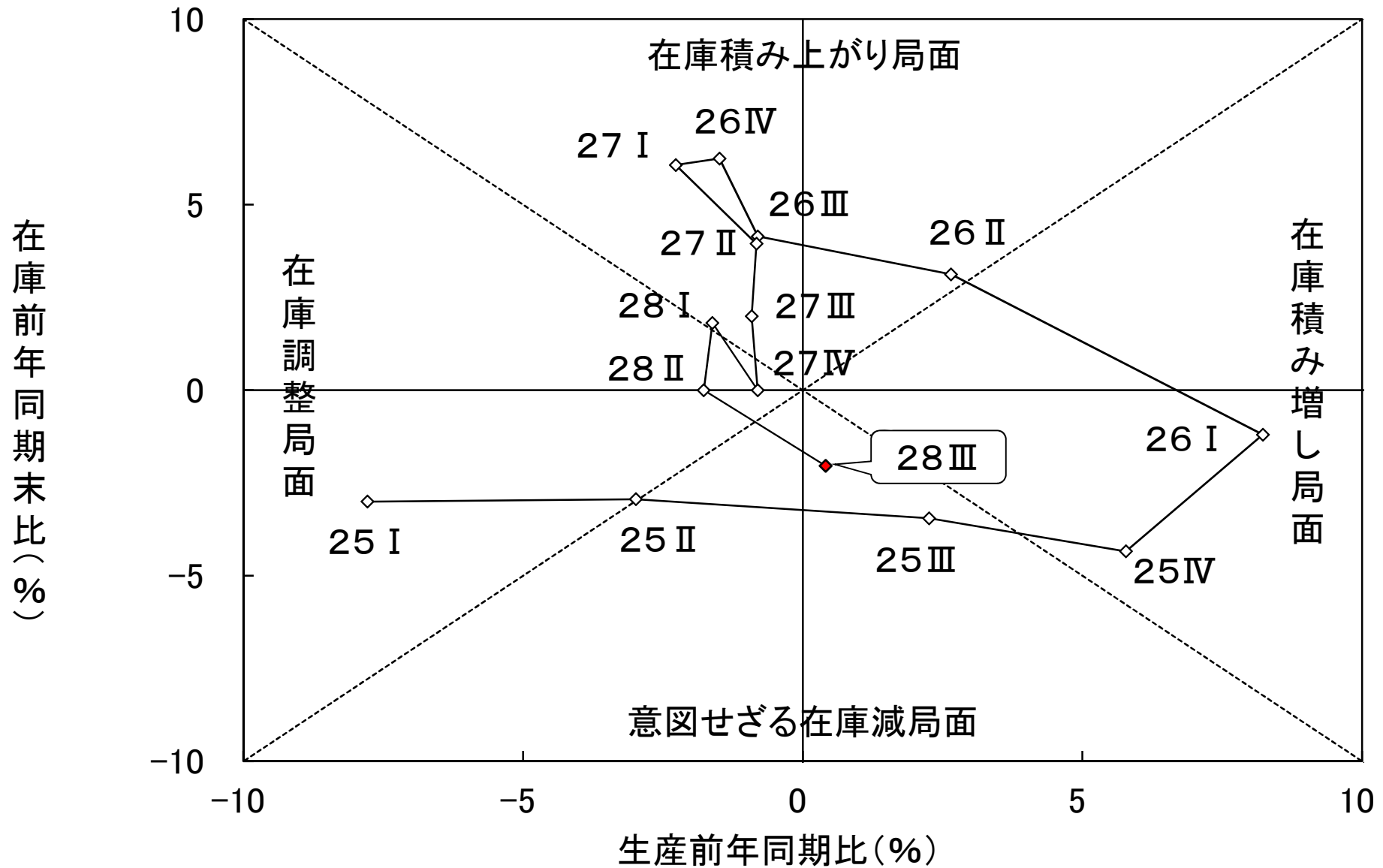
- ・平成28年9月の在庫率指数は114.9(前月比1.1%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成28年7月の117.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

鋁工業の在庫循環図



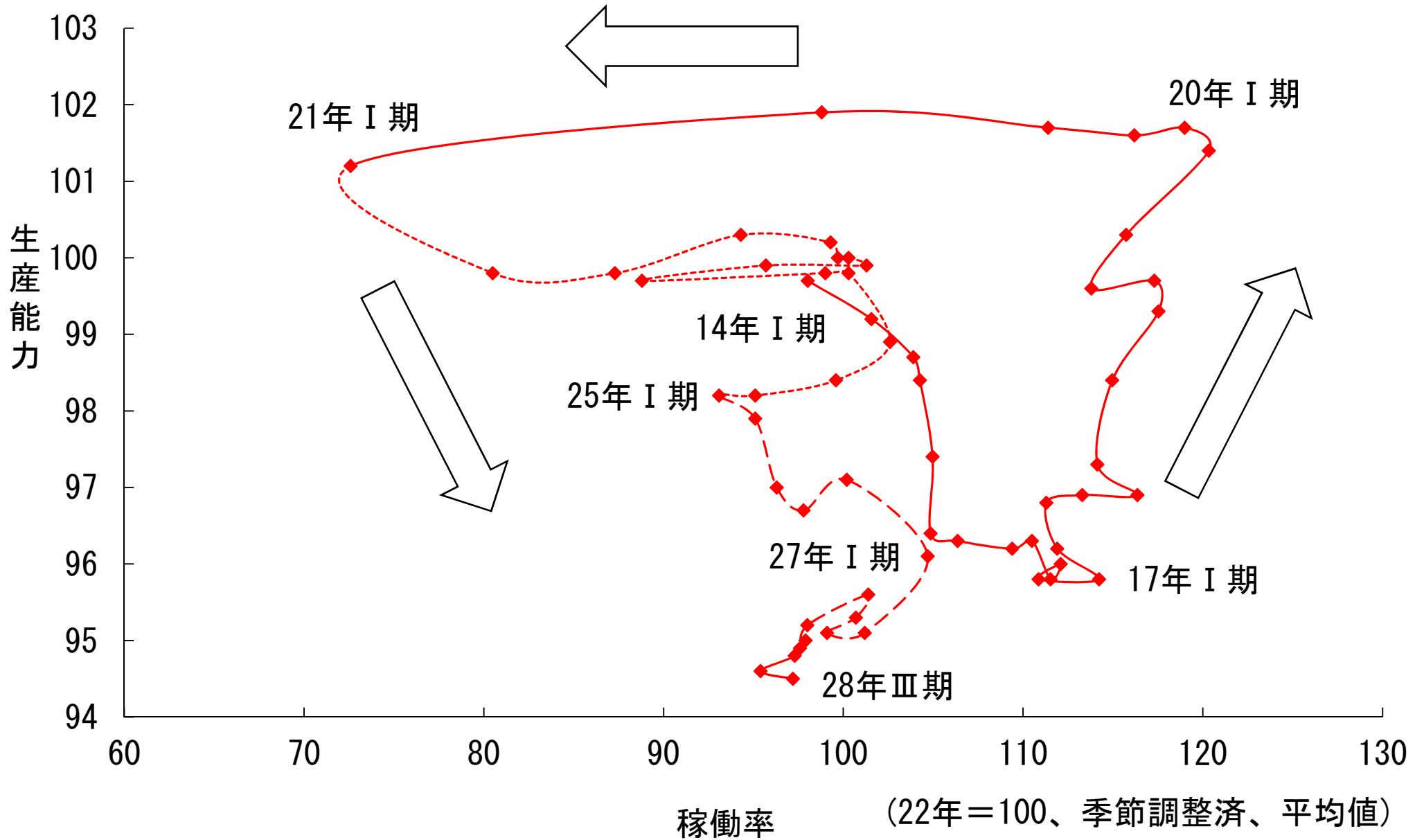
平成28年9月の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率		能力			
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
季調済指数	96.7	95.5	98.6	94.5 (原指数)	95.7 (原指数)	92.7 (原指数)
前月比	-2.0%	-2.3%	-0.6%	0.1%	0.1%	0.0%
指数水準	H28.7 96.2以来 ①H21.2 69.3 ②H21.3 70.3 ③H21.4 77.2	H28.6 94.3以来 ①H21.2 63.9 ②H21.3 66.4 ③H23.4 69.7	H28.7 97.5以来 ①H21.3 76.8 ②H21.2 77.8 ③H21.1 82.5	H28.6 94.6以来 I H20.11 102.0 II H20.12 101.9 III H20.7 101.8	H28.6 95.7以来 (超)H28.3 95.8以来 I H20.11 101.6 II H20.12 101.5 III H23.10 101.4	—
前月比の動き	4か月ぶりー (H28.5以来)	4か月ぶりー (H28.5以来)	4か月ぶりー (H28.5以来)	7か月ぶり+ (H28.2以来)	7か月ぶり+ (H28.2以来)	—
前月比幅	H28.5 -2.4%以来 ①H23.3 -21.7% ②H21.1 -12.0% ③H21.2 -11.3%	H28.4 -2.3%以来 (超)H28.2 -7.3%以来 ①H23.3 -28.6% ②H21.1 -15.0% ③H21.2 -14.8%	H28.5 -2.6%以来 ①H23.3 -10.9% ②H21.1 -7.9% ③H20.12 -7.6%	H28.2 0.1%以来 (超)H27.10 0.2%以来 I H21.10, H25.10 0.4% II H20.11, H23.10, H25.9, H27.1 0.3%	H28.2 0.1%以来 (超)H27.10 0.4%以来 I H21.10 1.1% II H25.10 0.8% III H20.11, H23.10 0.6%	—
前年同月比(原指数)	-1.0%	-0.9%	-1.0%	-0.4%	0.0%	-1.2%
前年同月比の動き	2か月ぶりー (H28.7以来)	2か月ぶりー (H28.7以来)	2か月ぶりー (H28.7以来)	14か月連続ー (H27.8~当月)	—	96か月連続ー (H20.10~当月)
前年同月比幅	H28.7 -4.6%以来 ①H21.2 -43.9% ②H21.3 -40.5% ③H21.1 -35.0%	H28.7 -6.1%以来 ①H21.2 -50.8% ②H21.3 -46.1% ③H21.1 -40.7%	H28.7 -2.1%以来 ①H21.2 -32.0% ②H21.3 -30.7% ③H21.1 -25.8%	H28.8 -0.5%以来 ①H21.7, 8, H26.11 -2.1% ②H26.1, 2, 4, 6, 10 -2.0% ③H21.9, H26.12 -1.9%	—	H28.8 -1.2%以来 (超)H28.5 -1.5%以来 ①H22.12, H23.1 -2.1% ②H22.9, 11, H23.2, 5, 6, H26.4 -2.0%

(注) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

稼働率と生産能力の循環図(製造工業)

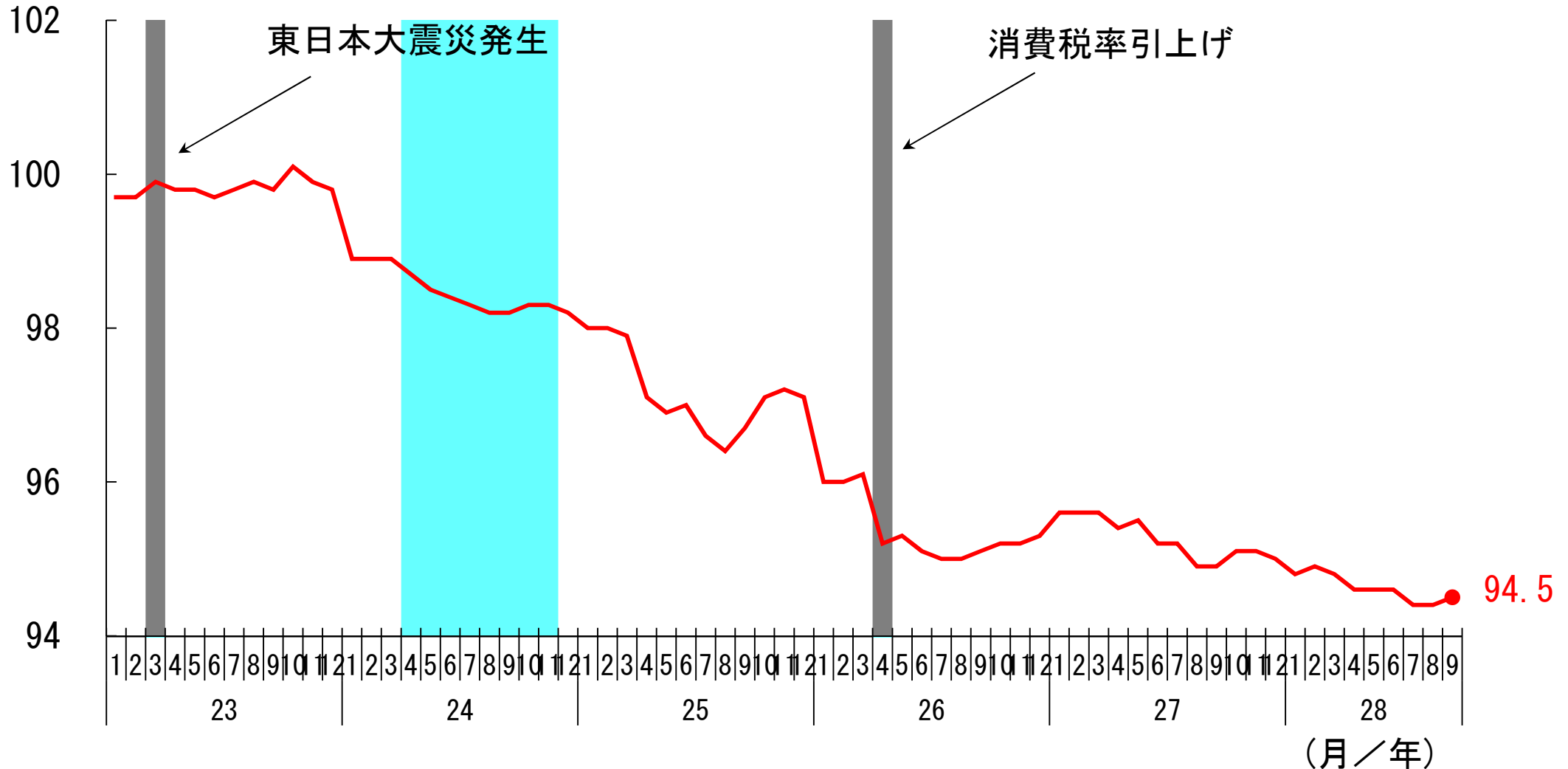
(22年=100、原指数、期末値)



製造工業生産能力指数の動向

- ・平成28年9月の製造工業生産能力指数は94.5(前月比0.1%)と7か月ぶりの上昇。

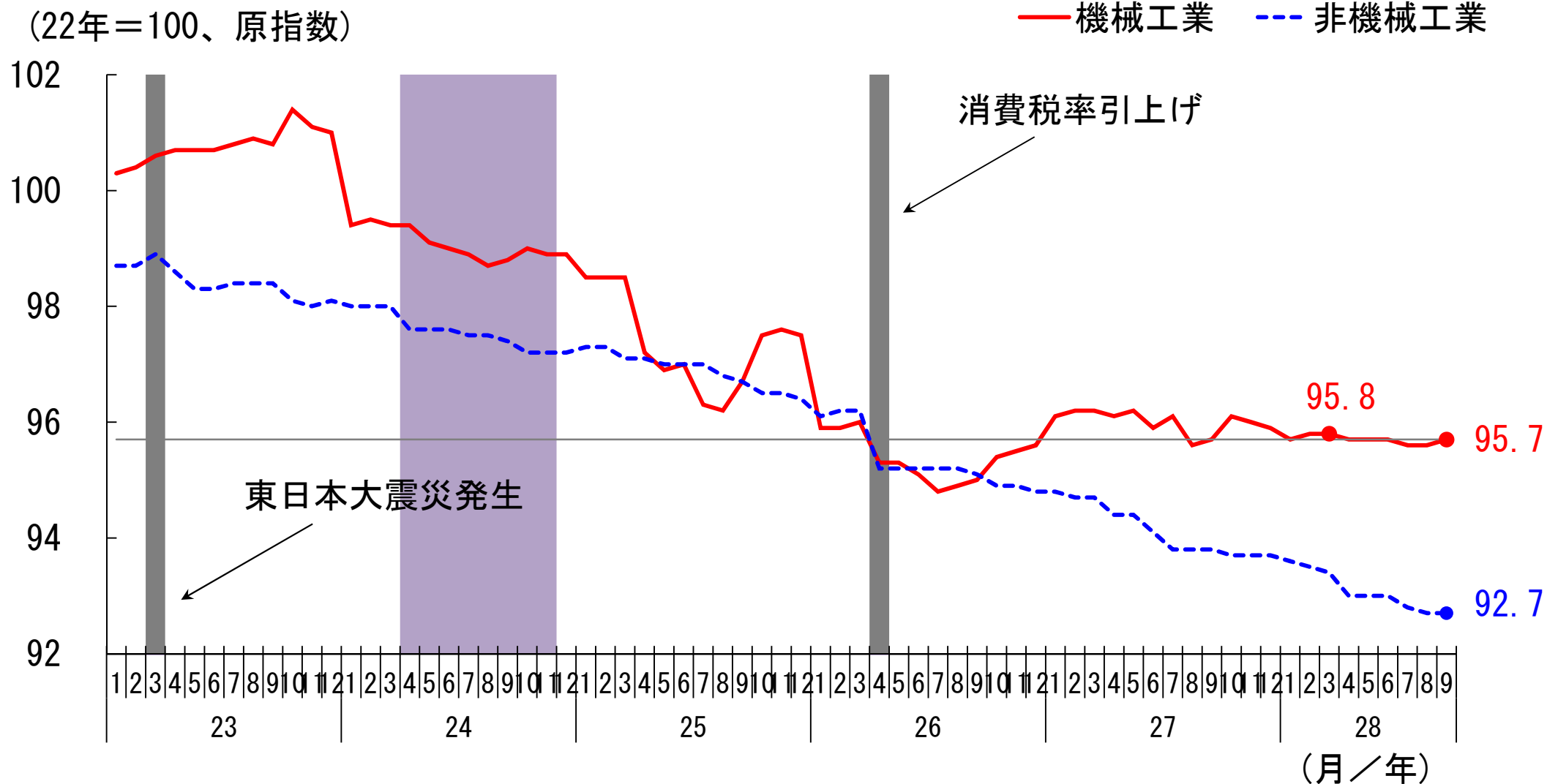
(22年=100、原指数)



(注) 1. 製造工業生産能力指数とは、月々の製造工業の生産能力を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。
2. 水色のシャドー一部分は景気後退局面。

機械工業と非機械工業の生産能力指数の動向

- 平成28年9月の機械工業の生産能力指数は95.7(前月比0.1%)と7か月ぶりの上昇。
平成28年3月の95.8以来の指数水準。
- 非機械工業の生産能力指数は92.7(前月比0.0%)と横ばい。

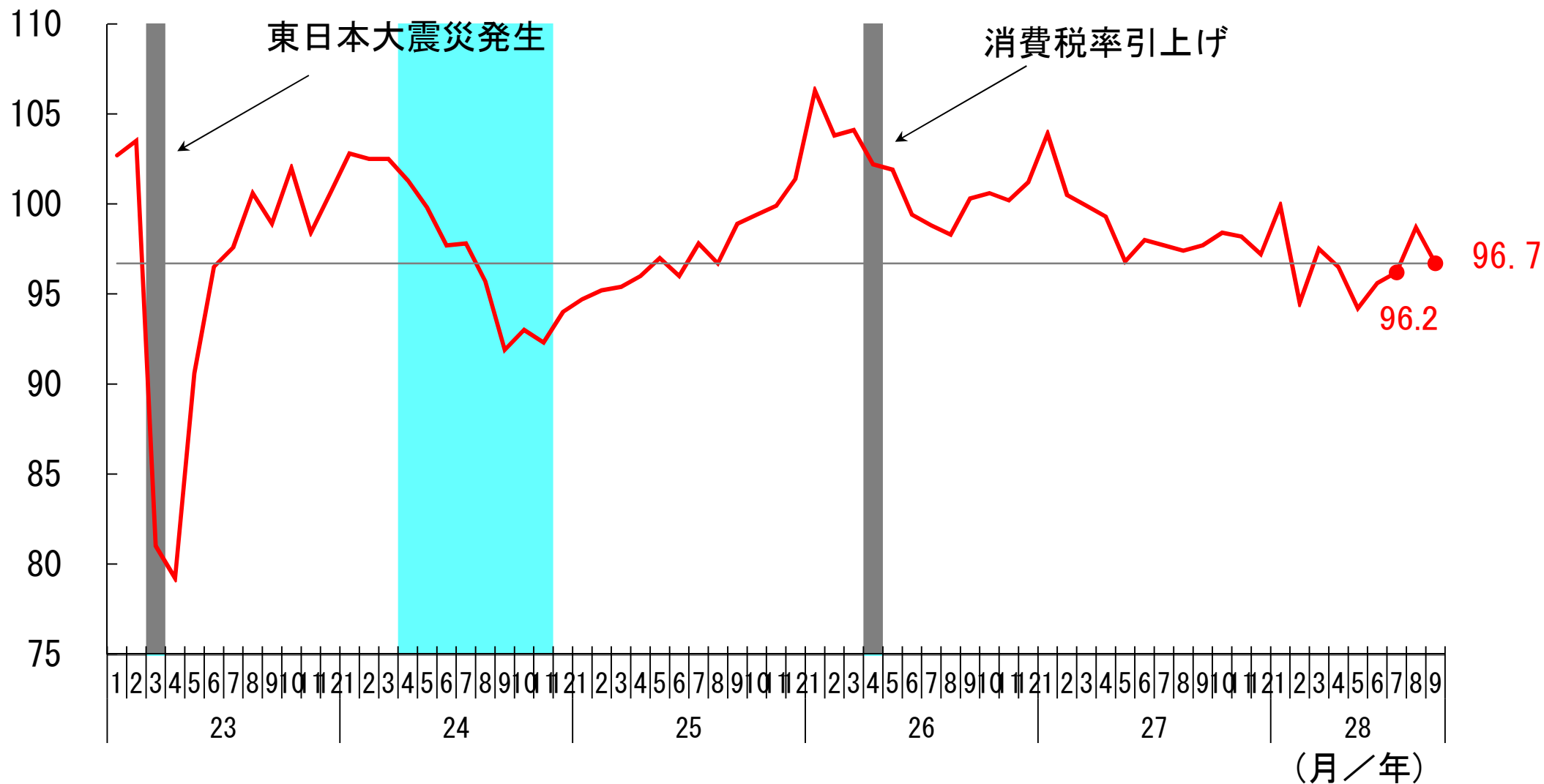


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数の動向

- ・平成28年9月の製造工業稼働率指数は96.7(前月比-2.0%)と4か月ぶりの低下。
- ・平成28年7月の96.2以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



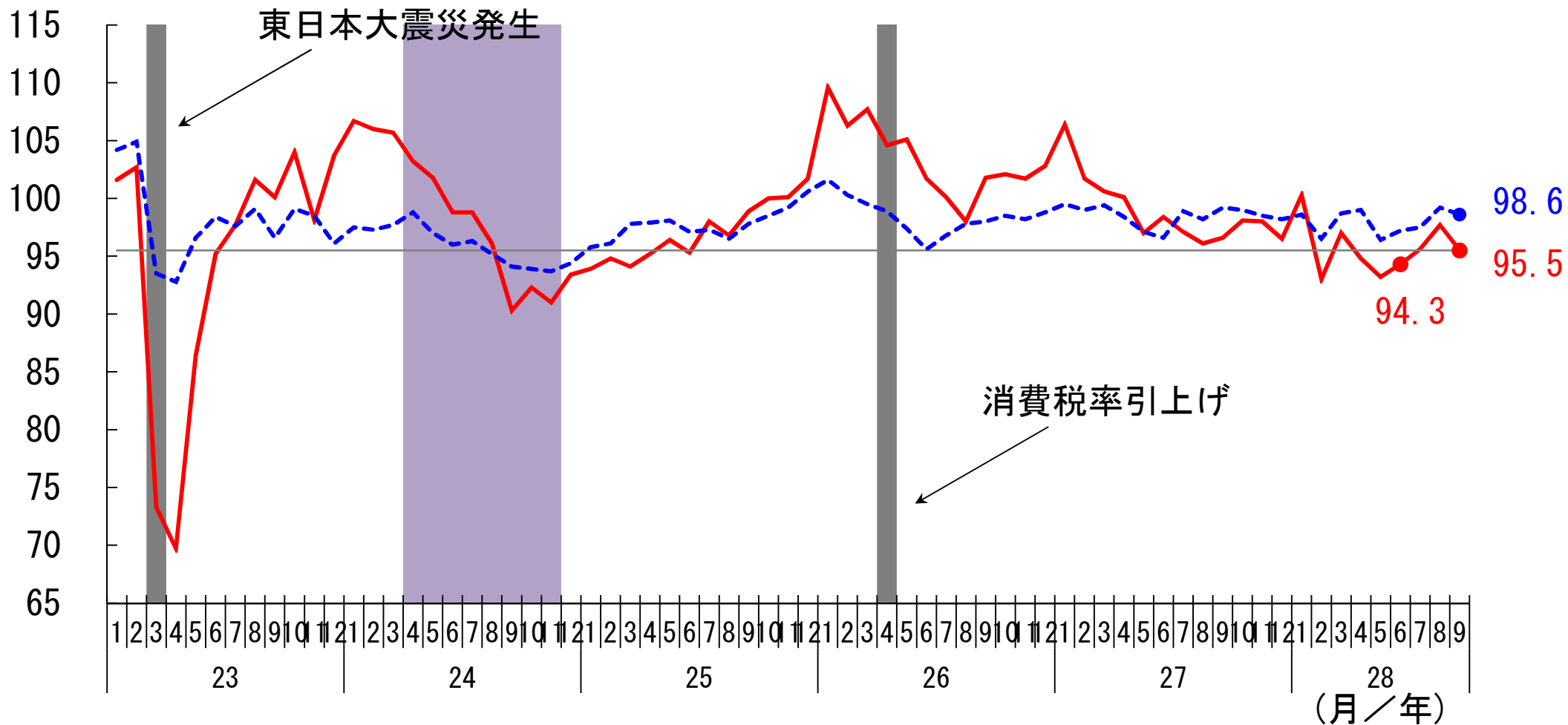
(注)水色のシャド一部分は景気後退局面

機械工業と非機械工業の稼働率指数の動向

- 平成28年9月の機械工業の稼働率指数は95.5(前月比-2.3%)と4か月ぶりの低下。
平成28年6月の94.3以来の指数水準。
- 非機械工業の稼働率指数は98.6(前月比-0.6%)と4か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)

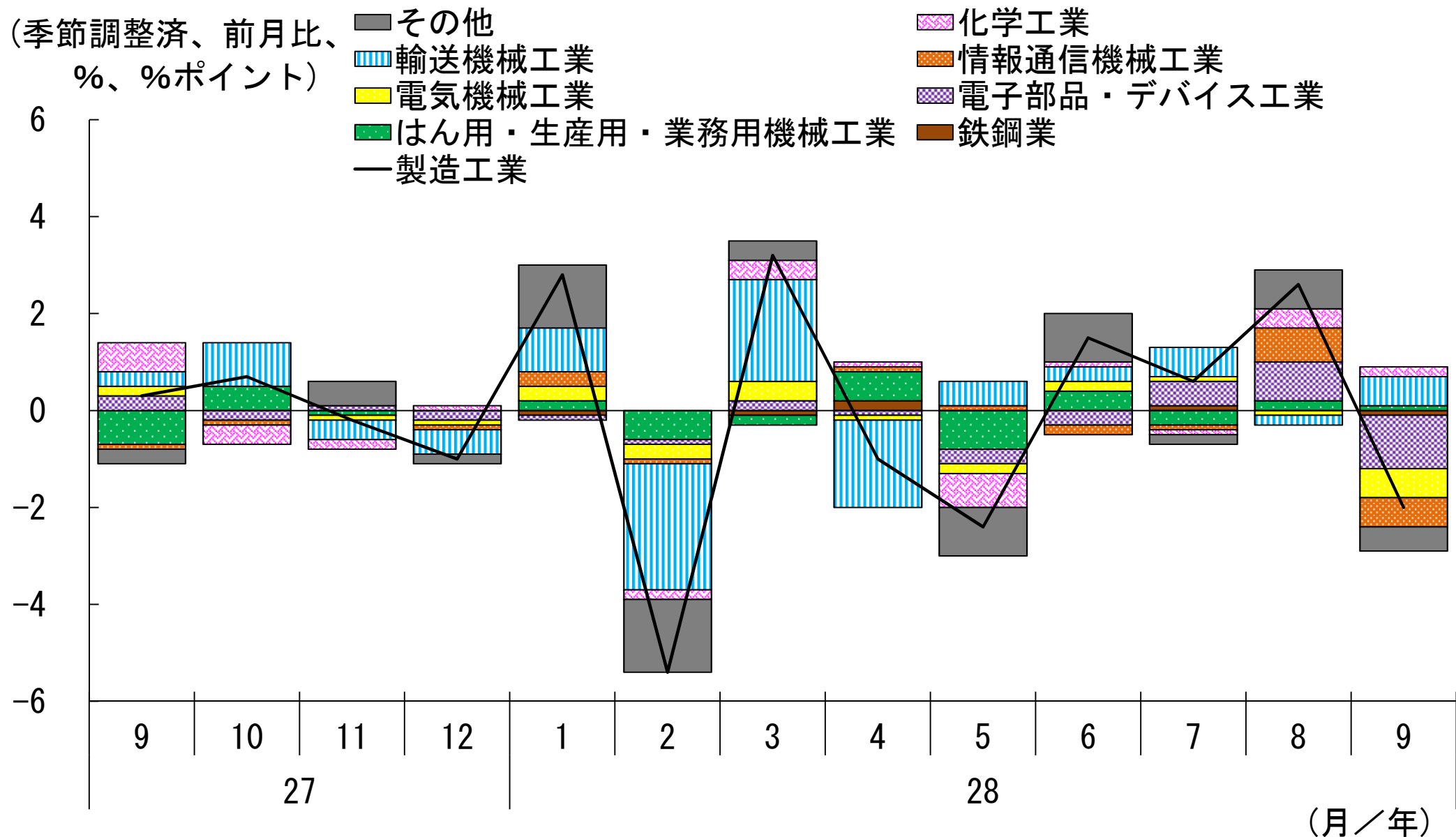
— 機械工業 - - - 非機械工業



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成28年9月の製造工業稼働率指数は、輸送機械工業などが上昇したものの、電子部品・デバイス工業などが低下したため、前月比-2.0%の低下。



平成28年7-9月期の鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

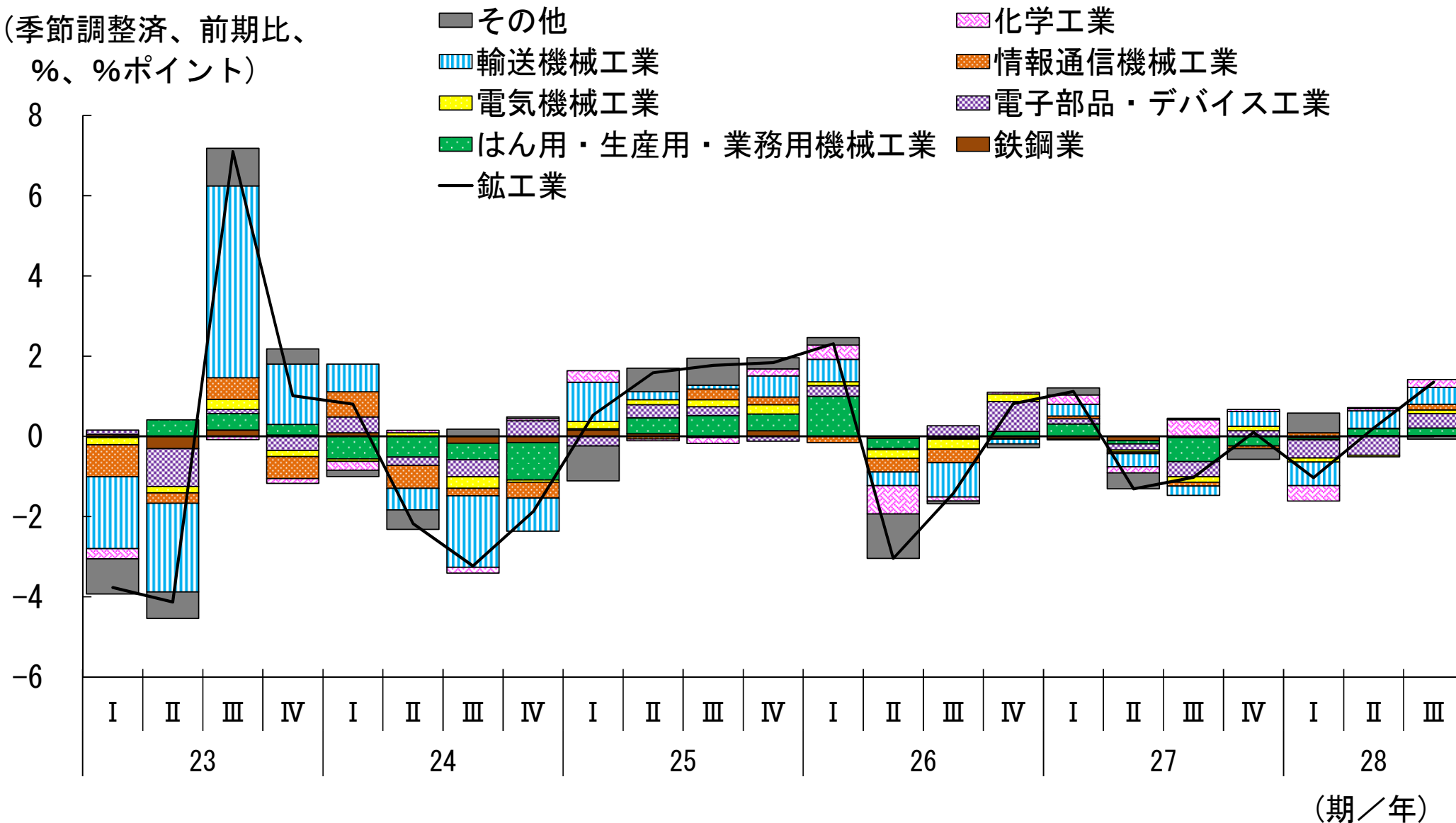
四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.6	95.6	110.9	115.3
前期比	1.3%	0.7%	-2.6%	-1.0%
指数水準	H27Ⅱ 98.0以来 ⅠH20Ⅰ 116.8 ⅡH20Ⅱ 114.8 ⅢH20Ⅲ 110.5	H27Ⅳ 96.6以来 ⅠH20Ⅰ 118.2 ⅡH20Ⅱ 115.0 ⅢH20Ⅲ 109.4	H26Ⅱ 110.1以来 ①H23Ⅰ 97.7 ②H21Ⅳ, H22Ⅲ 99.1 ③H22Ⅰ 99.6	H27Ⅳ 114.9以来 ①H20Ⅰ 96.8 ②H22Ⅲ 97.9 ③H20Ⅱ 98.1
前期比の動き	2期連続+ (H28Ⅱ～当期)	2期連続+ (H28Ⅱ～当期)	2期連続- (H28Ⅱ～当期)	6期ぶり- (H27Ⅰ以来)
前期比幅	H26Ⅰ 2.3%以来 ⅠH21Ⅳ, H23Ⅲ 7.1% ⅡH21Ⅲ 6.1% ⅢH21Ⅱ 5.3%	H27Ⅰ 0.7%以来 (超)H26Ⅳ 0.9%以来 ⅠH23Ⅲ 9.0% ⅡH21Ⅳ 7.7% ⅢH21Ⅲ 6.3%	H25Ⅰ -2.9%以来 ①H21Ⅰ -7.2% ②H21Ⅱ -5.9% ③H23Ⅰ -4.2%	H26Ⅰ -1.4%以来 ①H21Ⅱ -12.1% ②H21Ⅲ -11.7% ③H21Ⅳ -8.4%
前年同期比(原指数)	0.4%	-0.6%	-2.0%	0.3%
前年同期比の動き	9期ぶり+ (H26Ⅱ以来)	9期連続- (H26Ⅲ～当期)	10期ぶり- (H26Ⅰ以来)	10期連続+ (H26Ⅱ～当期)
前年同期比幅	H26Ⅱ 2.7%以来 ⅠH22Ⅰ 24.8% ⅡH22Ⅱ 19.7% ⅢH22Ⅲ 14.6%	H28Ⅱ -2.0%以来 ①H21Ⅰ -33.1% ②H21Ⅱ -27.7% ③H21Ⅲ -19.2%	H25Ⅳ -4.3%以来 ①H21Ⅳ -17.6% ②H21Ⅲ -12.4% ③H22Ⅰ -10.5%	H28Ⅱ 2.4%以来 ⅠH21Ⅰ 56.2% ⅡH21Ⅱ 35.6% ⅢH23Ⅱ 16.5%

(注) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋁工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年7-9月期の生産指数は、輸送機械工業などが上昇したため、前期比1.3%の上昇。

(季節調整済、前期比、
%、%ポイント)



平成28年7-9月期の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

四半期	稼働率		能力		機械工業	非機械工業
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
季調済指数	97.2	96.3	98.4	94.5 (原指数)	95.7 (原指数)	92.7 (原指数)
前期比	1.9%	2.3%	0.9%	-0.1%	0.0%	-0.3%
指数水準	H28 I 97.3以来 I H20 I 119.0 II H20 II 116.2 III H20 III 111.4	H28 I 96.8以来 I H20 I 124.9 II H20 II 120.9 III H20 III 115.0	H27IV 98.6以来 I H20 I 110.6 II H20 II 109.0 III H20 III 105.6	22年基準最低水準 ①H28 III 94.5 ②H28 II 94.6 ③H28 I 94.8	—	22年基準最低水準 ①H28 III 92.7 ②H28 II 93.0 ③H28 I 93.4
前期比の動き	3期ぶり+ (H27IV以来)	3期ぶり+ (H27IV以来)	4期ぶり+ (H27 III以来)	3期連続- (H28 I ~当期)	—	20期連続- (H23IV ~当期)
前期比幅	H26 I 4.5%以来 I H23 III 11.5% II H21 II 10.9% III H21 III 8.4%	H26 I 7.3%以来 I H23 III 19.1% II H21 II 12.6% III H21 IV 10.0%	H27 III 1.4%以来 I H21 II 8.4% II H21 III 6.7% III H21 IV 5.4%	H28 II -0.2%以来 ①H21 II -1.4% ②H26 I, II -1.0% ③H24 I, H25 II -0.9%	—	H28 II -0.4%以来 ①H26 II -1.0% ②H22 III -0.7% ③H22 I, H23 II, H27 II -0.60%
前年同期比(原指数)	-0.6%	-0.7%	-0.4%	-0.4%	0.0%	-1.2%
前年同期比の動き	7期連続- (H27 I ~当期)	7期連続- (H27 I ~当期)	5期ぶり- (H27 II以来)	5期連続- (H27 III ~当期)	—	32期連続- (H20IV ~当期)
前年同期比幅	H28 II -2.7%以来 ①H21 I -39.9% ②H21 II -30.7% ③H21 III -21.5%	H28 II -4.5%以来 ①H21 I -46.0% ②H21 II -36.3% ③H21 III -26.3%	H27 I -0.8%以来 ①H21 I -29.5% ②H21 II -21.4% ③H21 III -13.4%	H28 II -0.6%以来 ①H26 II -2.0% ②H21 III, H26 IV -1.9% ③H21 II, H26 I -1.8%	—	H28 II -1.2%以来 (超)H28 I -1.4%以来 ①H22 IV -2.1% ②H22 III, H23 II -2.0% ③H26 II -1.9%

(注) I ~ IIIは22年基準における最大値から3位まで、①~③は最小値から3位までの数値

製造工業稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成28年7-9月期の稼働率指数は、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前期比1.9%の上昇。

